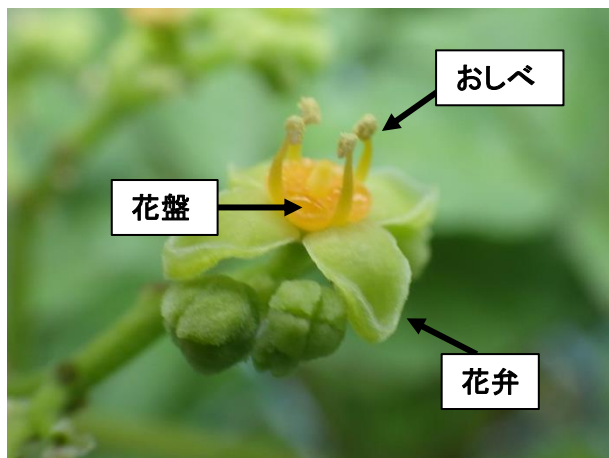


2018/8/17

神代植物公園

植物多様性センターの「ヤブガラシの不思議」

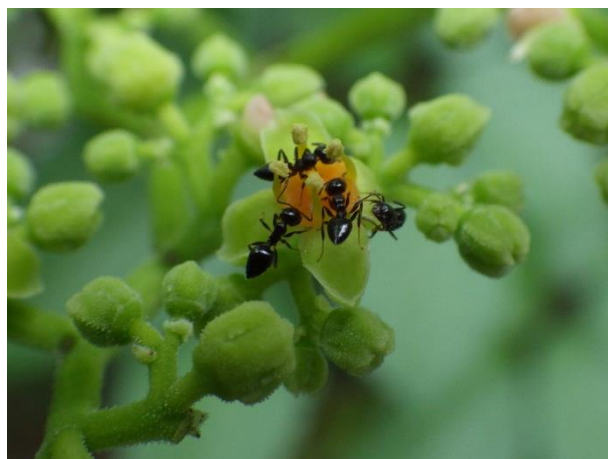
ヤブガラシはブドウ科のつる性の多年草です。茶褐色の太い地下茎を横走させて、あっという間に空き地や林縁などを覆ってしまいます。花は緑色の小さな4弁の花ですが、開花と同時に脱落し、豊富な蜜を分泌するオレンジ色の花盤のみが目立ちます。この蜜に惹かれて多くの昆虫が訪れますが、東日本のヤブガラシは3倍体で、まれにしか実をつけることはありません。西日本には実をつけるタイプのヤブガラシが分布しています。



咲きたての花、4本のおしべの基部にはオレンジ色の花盤



ヤブガラシの花に吸蜜に訪れたナミツチスガリ



集団で花盤の蜜をなめるテラニシシリアゲアリ



東京の湾岸部で確認された実をつけた個体